

# 令和五年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和五年二月一日〜令和五年四月末

選者 星野椿、星野高士

投句数 一、二八六句

## 特選三句

天

白梅の咲きて深空の青さかな

埼玉県坂戸市 渡邊 俊一

地

実朝に落款あらば落椿

神奈川県横浜市 鈴木 基之

人

初音聞く虚子と立子の眠る谷戸

神奈川県平塚市 中丸 しげこ

## 入選句

### 一般の部(二十句)

春深し牡蠣殻絵馬のアラビア字

神奈川県藤沢市 青木 敏行

春浅き大路貫く段葛

神奈川県相模原市 荒井 篤

花の丘観音さまの慈顔かな

神奈川県横浜市 石川 正明

行く春や搭乗口の父遠し

神奈川県鎌倉市 上崎 有紀

春日傘駆け込み寺は人まばら

神奈川県横浜市 加藤 文男

雲水の修行道場梅の花

神奈川県横浜市 金子 きよ

だしぬけに今年も谷戸の初蛙

神奈川県横浜市 佐藤 満

虚子矢倉童女の墓にチューリップ

東京都渋谷区 進藤 沙世子

見納めとなるかも古都の桜かな

神奈川県座間市 鈴木 幸子

野仏の膝に賽銭春うらら

神奈川県鎌倉市 高田 純

初音聞く読経に負けず響きをり

神奈川県逗子市 高梨 優子

白といふ夢のはじまり牡丹の芽

神奈川県横浜市 田阪 武夫

扁額に武衛の二文字風光る

神奈川県横浜市 谷田 八千代

梅白ふ待ちわびしバスやり過ごし

神奈川県横浜市 内藤 教雄

つくばいの水ぬるみゆく瑞泉寺

神奈川県逗子市 西 妙子

嫁姑笑ひ声あげ若布干す

東京都杉並区 野村 親信

引潮の渚に影や春の人

東京都町田市 星野 佐紀

右からと思へば左からも蝶

神奈川県鎌倉市 本山 流奈

梅一輪武士眠る山の裾

神奈川県横浜市 矢地 竹男

観音に別れ告げるや初桜

神奈川県横浜市 山下 省三

### 子ども部(十句)

そよそよとだいぶつさまにはるのかぜ

東京都世田谷区 井戸 愛夏

江ノ電に大きく映える梅の花

東京都千代田区 須永 英太

うぐいすがはやおきしたら鳴いてたよ

神奈川県鎌倉市 三橋 智哉

鶯と共に参ろう衣張山

神奈川県鎌倉市 坂口 花菜

衣張山春一番の風が吹く

神奈川県鎌倉市 椎出 こはる

春一番目と鼻の先知る歴史

神奈川県鎌倉市 高畑 琳々果

春風に吹かれささやく木々の声

神奈川県鎌倉市 干場 洛

さくらふることもあつまるこうていに

神奈川県鎌倉市 仲田 蓮騎

春の海ずっと見てたいきれいだな

神奈川県鎌倉市 村上 萌夏

空をゆく一かたまりの花吹雪

神奈川県鎌倉市 吉田 芙季

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・

鎌倉俳句&ハイク実行委員会

<https://www.kamakura-haiku.com/>

<事務局>

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内

〒247-0056 鎌倉市大船 6-1-2

TEL 0467(30)9237